

2024年4月22日

各位

会社名 株式会社東京機械製作所

代表者名 代表取締役社長 都並 清史

(コード番号：6335 東証スタンダード)

問合せ先 取締役かずさテクノセンター長 上等 吉則

(TEL 0438-20-5551)

最大 30kg 可搬の「ロボットアーム搭載型 AGV」と 最大 500kg を牽引可能な「牽引型 AGV」の開発について

株式会社東京機械製作所（本社：東京都港区、代表：都並清史、以下「TKS」）の子会社である株式会社 KKS（本社：大阪市西淀川区、代表：犬飼政之）は、AGV による更なる省人化と作業の自動化ニーズに対応すべく、「ロボットアーム搭載型 AGV」と「牽引型 AGV」を開発いたしましたのでお知らせします。

「ロボットアーム搭載型 AGV」は、AGV 上にロボットアームを搭載し、移動しながら人と協働することが可能となります。このロボットアームは業界最重量級仕様となる 30kg の搬送対象物の運搬を実現し、アーム部分に取り付けたカメラを用いることで、搬送対象物に対する高精度な位置決めが可能となります。特に重量物のパレタイズは、作業員に大きな負担がかかるため、自動化によって労働環境の改善や生産性の向上が期待できます。

【具体的な活用事例案】

- ・飲料業界 : ペットボトルケースの運搬とパレタイジング
- ・金属加工業界 : 加工部品の供給
複数加工機へ移動しながら資材の供給と加工後の製品回収
- ・化学薬品業界 : 石灰袋の運搬とパレタイジング
- ・農業（農協） : 米袋の運搬とパレタイジング
- ・建築業界 : 資材の運搬

「牽引型 AGV」は、最大 500kg の重量物を牽引しながらも、段差走行が可能な AGV です。搬送ルートを変更できる新しい制御方法を採用し、自動着脱牽引フックも装備いたしました。製造現場の資材搬送や物流倉庫でのカゴ台車の搬送に威力を発揮し、既設設備（工場のレイアウトや既に使用されているカゴ台車）を変更せずに、自動化に対応いたします。

■今後の展開について

「ロボットアーム搭載型 AGV」と「牽引型 AGV」は、本年 9 月開催予定の『国際物流総合展 2024』にてお披露目を予定しております。この他にも、屋外・悪路・登坂が可能な積載重量 1 トンと 2 トンの 2 種類の AGV、また自律走行清掃ロボットなどを展示予定です。

■TKS グループの AGV について

TKS グループは、これまで屋外・雨天・悪路の走行が可能な全天候型の AGV などを開発し、工場や倉庫などの物流業務における省人化や効率化ニーズにお応えしてまいりました。現在開発中の「ロボットアーム搭載型 AGV」と「牽引型 AGV」は、TKS グループの FA 事業のコンセプトである「人にもっと近く、人と機械が共存する未来を実現」をもとに、これまでの搬送業務の省力・省人化にとどまらず、「搬送業務+作業」の自動化に対応してまいります。

TKS グループは、AGV・自律走行清掃ロボット・協働ロボットなどを扱う FA 事業で、2026 年度までに売上高 10 億円を目指しています。

なお、本件開発による現時点での当社の当期業績に与える影響は軽微ですが、今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

【「ロボットアーム搭載型 AGV」「牽引型 AGV」のイメージ図】



以上